

- 眺望景観形成誘導基準を策定しました!! (P.1)
- こうべ楽座&夜市ーわがまちを語る会2010ー開催 ほか (P.2)
- <震災15年特集>阪神・淡路大震災を語り継いで その4 (P.3)
- 発信!まちセン研究ネット⑩ ほか (P.4)

発行：神戸市立 こうべまちづくり会館

バックナンバーはこちら <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/>

## 神戸らしい眺望景観の形成に向けて 眺望景観形成誘導基準を策定しました!!

神戸は、神戸港と六甲山の山並みが市街地と一体となった景観や、西北神地域の豊かな自然と田園集落の景観など、変化に富んだ素晴らしい眺望景観に恵まれており、これらは神戸の魅力の重要な要素の一つとなっています。

神戸市では、神戸の素晴らしい資源や魅力を、デザインの視点で見つめなおし磨きをかけて、神戸の新たな魅力と活力をつくり出し、市民のくらしの豊かさを創造する「デザイン都市・神戸」を推進しています。この取り組みの一環として、優れた眺望景観を次世代へ引き継いで行くため、新たな施策の検討を進めてきました。

市民公募により選定した「神戸らしい眺望景観50選.10選」の中から、まずは都心部のモデル地区において、眺望景観の形成に向けた規制・誘導を行うため、このたび、新築する建物などについて高さや幅に関する眺望景観形成誘導基準を下記のとおり定めました（平成22年3月30日告示、平成22年7月1日施行）。

ひきつづき、市民のみなさんがより一層の誇りと愛着をもてる神戸らしい都市景観の形成をめざし、「デザイン都市・神戸」のさらなる推進に取り組んでいきます。

### ①ポーアイしおさい公園から市街地と背後の山並みを眺める「見晴らし型眺望景観」



六甲の山並みを背景に市街地と港を眺めたときに、菊水山付近から摩耶山付近にかけての山並みの稜線が新築される建物などによって隠れないように、建物の高さを基準線以下に誘導するとともに、眺望をさえぎる幅の広い建物とならないように建物の高層部分の東西方向の幅を40m以下に誘導します。

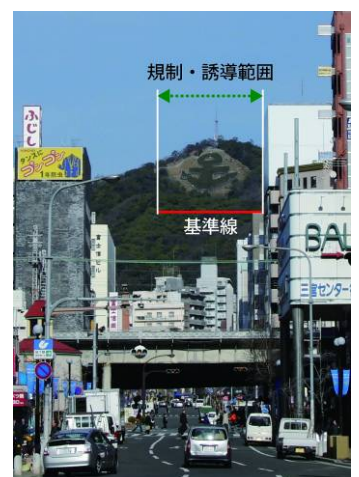
### ②元町1丁目交差点(大丸前)から錨山を眺める「シンボル型眺望景観」

鯉川筋を見通して錨山を眺めたときに、シンボルである錨形が新築される建物などによって隠れないように建物の高さを基準線以下に誘導します。

※これらの誘導基準は、既に指定している「景観計画区域」（景観法）、「都市景観形成地域」・「景観形成指定建築物等届出地域」（神戸市都市景観条例）の各区域ごとの誘導基準に追加して運用します。

基準の詳細は、

<http://www.city.kobe.lg.jp/information/project/urban/scene/index.html> をご覧下さい。



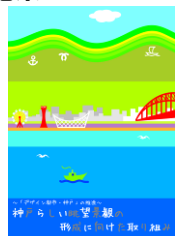
### 【適用除外】①、②とも

- (1) 誘導基準の施行日に既に存在している建築物等
- (2) 都市計画に位置づけている、特定街区、高度利用地区、都市再生特別地区および高さの最高限度を定めている地区計画区域・景観計画区域の建築物等
- (3) 都市景観審議会の意見を受けて、良好な景観形成を図ることができると認める建築物等

(神戸市都市計画総局計画部まちのデザイン室)

### 眺望景観形成施策パンフレット

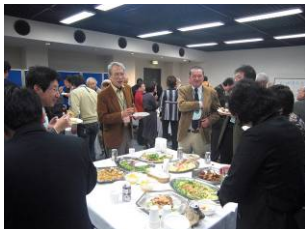
眺望景観形成施策を幅広く市民のみなさんに知っていただくために、パンフレットを作成中です。



# こうべ楽座 & 夜市－わがまちを語る会2010－開催



ワークショップで活発な議論



楽しく交流



地域の逸品

平成22年3月20日（土）、こうべまちづくり会館の2階ホール・3階多目的室を使って、「こうべ楽座&夜市－わがまちを語る会2010－」が開催されました。

この催しは、日頃から地域づくり・まちづくりに熱心に取り組んでおられる方たちの交流の場として、いきいき下町推進協議会と神戸市が協働で行ってまいりました。今回で7回目を数え、今回は、初参加の4団体を含む17団体から41名のご参加をいただきました。

第1部の楽座では、「自立・持続のまちづくり」に向けてという大きなテーマのもと、まちづくりの取り組みの中での「ヒト・カネ・ネタ（活動内容）」についての悩みを語り合い、解決へのヒント、アイデアを探りました。8班に分かれてのワークショップで、ヒト・カネ・ネタの中から中心テーマを1つ選択して活発な議論が行われ、会場内はたいへん盛り上がりました。また、各班からは、今後に活かされるさまざまなアイデアが発表されました。

第2部の夜市では、歓談・交流が行われ、参加団体の西出東出まちづくり協議会、長田神社地域活性化協議会からは、地域の逸品としてそれぞれピリケングッズ、グーシーのキャラクター商品が紹介されるなど、楽しく地域間の交流が行われました。

（市民参画推進局地域力強化推進課）

## 「三都の智恵に学ぶ 水から読み解く、安心して豊かな住まい・まちづくり」開催

3月27日（土）に、大阪・京都・神戸の三都市と建築学会の連携により、「水から読み解く、安心して豊かな住まい・まちづくり」をテーマとするシンポジウムが開催されました。この企画は、歴史も成り立ちも異なる三都が、それぞれに蓄積された、水とくらす智恵と経験を共有し、住まいと水の一層良好な関係をきづくことをねらいとしたものです。

シンポジウムは2部構成で、第1部では、水をキーワードとして、10月に各都市で開催された「まちめぐり」のダイジェストがリレー報告されました。



大阪で行われた水上バスツアーでは、視点を川に置くことによって初めて見えてくる建築物や橋のおもしろさ、京都からはその近代化の象徴とも言える琵琶湖疏水の水を利用した邸宅庭園や疏水とともに発展した岡崎のまちについて、神戸からは、生田川の源流“布引貯水池”から河口のHAT神戸に至るまち歩きの中で見た、急で短い表六甲の河川ならではの景色の変化について報告がありました。まちめぐりに参加できなかった人も、報告を聞いて、三都市それぞれの水との関わりを感じてもらえたのではないのでしょうか。

第2部では、住生活、都市計画、住宅建築、住まいの維持管理などの観点から水とのつながりについて専門家より話題提供がありました。

都市の居住文化やまちの形成と水のつながりについて、大阪においては川が水源、水運、遊興の場としていかに身近な存在であったか、京都においては、その地勢とまちの成り立ちの関係について語られました。また、神戸については、最近の取組みとして、震災の経験を踏まえ、防災・環境の観点からつくられたせせらぎについての説明がありました。

その後のパネルディスカッションでは、それぞれの専門的視点から智恵を交換し合うとともに、会場からの活発な質問もあり、大変有意義なシンポジウムとなりました。

住まいとまちと水の接点は、私たちの暮らしの中にたくさん存在しています。水をきっかけに住民同士のつながりが生まれ、その暮らしの中で共有の財産となるよう、循環させていくことで、住民の寄り合いとなって欲しいと考えています。

（神戸市すまいの安心支援センター）



〈震災15年特集〉

# 阪神・淡路大震災を語り継いで その4

## ～神戸防災技術者の会 (K-TEC) の活動から～

### 6. 仮設住宅の生活は

どのくらいの数の仮設住宅が必要であるか予測もつかない震災当日の夜、住宅部局に対して仮設住宅建設可能用地の調査と建設工事の発注準備の指示が出され、3日後には約 1,000 戸の第一次工事の発注をスタートしました。その後、悉皆調査を行い当面自力で住宅を確保できない、また直ぐ建替えが出来ない被災者のための仮設住宅約3万戸の建設を進めました。

その過程においては、270ha に及ぶ建設用地を求め、西区や北区のニュータウンの空き地を物色する一方、元の住まいに少しでも近い市街地部に数多くつくりたいとの想いから共同トイレ・共同風呂の2階建て形式の地域型仮設住宅を提案し、まだ建設中でライフラインも整っていなかったポートアイランド2期での建設を強行しました。こうした走りながら考える状況の中でも、心に傷を負った子供たちに唯一残された学校の運動場での建設を避けるなどの配慮を忘れず、国や県と調整を繰り返しながら厳しい避難所生活の一日も早い解消を目指したのです。

入居にあたっては要援護者を優先した抽選方式を採るように国からの指示を受けました。結果として、これまで聞いたことも無い遠方の北区や西区の地に移転し、それまで付き合いのあった近隣の人と離れ離れになることに強い抵抗感を感じるお年寄りも多く、皆さんに理解を求め日々が数ヶ月間続きました。

当初の仮設住宅は、夏場の暑さや台風に不安を感じるトタン板一枚の屋根、急ごしらえのためひん曲がって閉まらないドアや襖、隣のテレビの音から口げんかまで筒抜けでプライバシーの保たれない部屋、また周囲は舗装も無いぬかるんだ道で、買い物に行くにも慣れない道をたどるといった苦しい生活環境でした。

そのような中、私がいた中央区内では被災者の皆さんが震災後直ぐに、行政頼みだけではなく、被災者自らも立ち上がろうと「避難者連絡会」を結成され、避難所の生活環境改善に取り組んでおられました。

仮設住宅においても連絡会は、見知らぬ者同士が居住するなか、自治会結成に向けたアドバイスや生活環境の改善の提案、各仮設住宅間の連絡などを行ってくれる、行政にとってありがたい存在でした。

例えば、砂とスコップを自治会に支給してくれれば雨でぬかるんだ通路の補修を勤労奉仕するとの申し入れがあったり、居住者が亡くなるたびに“孤独死を防止できない行政”と非難を受けた時にも、見守り活

動を行うなど共助の気持ちを持って活動をしていただきました。行政もこの会に後押しをされながら、災害救助法に定める範囲だけでは生活環境を整えることはできないと、生活復興基金の一部を活用して冷暖房機の設置や舗装、玄関周りのスロープ設置などを進め、さらにミニスーパーの出店もお願いしました。

また、50 戸以上の仮設住宅が立ち並んだ所には「ふれあいセンター」を設置し、室内に引きこもらずに喫茶コーナーで語り合ったり、皆でカラオケや趣味を楽しんでいただき、少しでも生活に潤いを持ってもらえるように仕掛けもつくり、その運用は自治会に主体的に行っていたのです。

市街地部では自らも被災者であった自治会や婦人会、民生委員などから成る「ふれあいのまちづくり協議会」の皆さんが避難者をケアされる姿が多く見られましたし、半数以上の仮設住宅が建てられたニュータウンにおいては周辺の皆さんは、地域の新しい住民として暖かく出迎え、訪問や花づくり、元気アップイベントなどを開催されていました。

このように被災者の皆さんは、周辺の皆さんのお世話も受けながら、自立しようと強い気持ちを持ち、最長5年間にわたる仮設住宅生活を乗り切られました。

### 7. そして復興住宅へ、自主再建住宅へ

72,000戸にのぼる住宅建設の中には、元の土地に自主再建した方、復興区画整理を待って再建した方、復興再開発で建てられたマンションに入居した方、そしてまたもや抽選方式であったために必ずしも元の地域でない復興公営住宅に入居した方もありましたが、5年をかけて恒久住宅への移転が完了しました。

震災は大きな犠牲をもたらしましたが、その中で市民は、震災直後から再び恒久住宅に住まうまでの間、互いに助け、助けられた経験を通して、共に助け合う「共助」の大切さを学んだのです。

言葉足らずの点多々ありましたが、今回を持って私が語り継いでいる事柄の一端の紹介を終わります。

避難者連絡会はその後「市民交流会」と発展改組し、復興公営住宅の訪問や相談活動を行うとともに、東遊園地で開催される「1.17の灯」の中心として竹筒や蠟燭づくりなど今なお縁の下の活動をされています。

神戸防災技術者の会 (K-TEC) 片瀬範雄 (元神戸市職員)  
ホームページ <http://www.k-tec117.com/>

# 発信！！まちセン研究ネット⑩ 神戸防災技術者の会(K-TEC)

神戸防災技術者の会(略称K-TEC)は神戸市職員とその退職者をメンバーとして2004年6月に発足しました。現在、約60名(現役3/4, OB1/4)が参加しており、「共に防災・減災を学ぶ場」として、毎月第2火曜日の夕方から定例会(勉強会)を開いています。最近では復旧・復興に直接携わった職員から、震災当時の市民の動きや職員がそれぞれの立場でどのように乗り越えてきたかについて、活字になっていない内容も交えた話題提供を受け、「専門分野や経験・年齢の枠を超えた」議論を繰り広げています。

またK-TECが理念のひとつとする「伝承(語り部)活動」は、市の危機管理室やホームページを通じて全国の自治体や自主防災組織などから要請を受けて実施しています。私たちが震災で体験した悔しさや悲しさ、苦しさ、そしてそこから得た教訓などをお伝えすることで、防災・減災のお手伝いが出来ればと取り組んでいます。その輪は国内に止まらず、2008年発生の中東・北アフリカ大地震の視察団へのレクチャーや案内、JICA主催の研修や彼らとの意見交換会など、海外との交流へと広がっています。

最近では小・中学校から声をかけていただく機会も増え、分かり易く伝えるための話し方に頭を悩ます場面もありますが、これからも研鑽を深め発信に努めますので、情報交換と交流をよろしく願います。



第69回定例会 JICA研修員との意見交換

ホームページ: <http://www.k-tec117.com/>

## まちづくり会館 展示のお知らせ

### 1階オープンギャラリーの予定

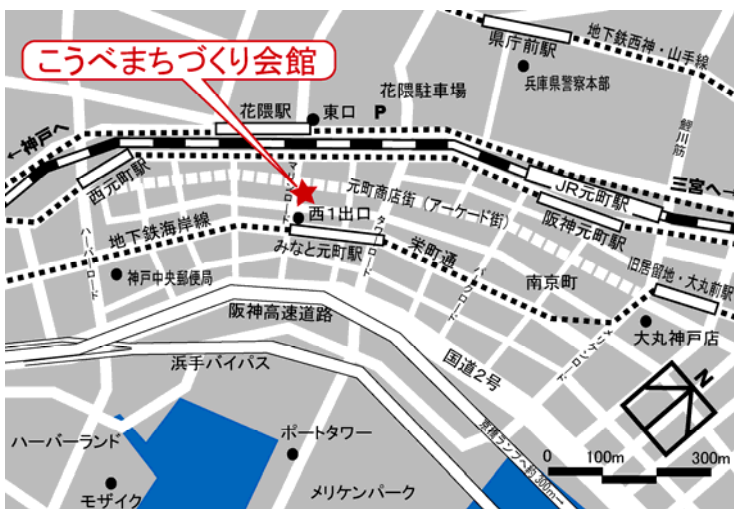
期 間	テーマ・内容	主催者
4/29(木) ~ 5/11(火)	神戸景観・ポイント賞受賞作品	都市計画総局景観室
5/13(木) ~ 5/25(火)	有馬温泉の魅力発信	有馬ふれあいのまちづくり協議会
	須磨離宮公園	神戸市公園緑化協会
5/27(木) ~ 6/8(火)	神出地域パネル展	神出町自治協議会
6/10(木) ~ 6/29(火)	土砂災害防止月間パネル展	国土交通省

※展示期間が変更になる場合があります。

### 地階ギャラリーの予定

期 間	テーマ・内容	主催者
4/29(木) ~ 5/4(火)	埴本勝司個展<油彩・日本画>	埴本勝司
5/6(木) ~ 5/11(火)	元町の芸術家たち展Ⅷ<油彩・水彩等>	神戸元町商店街連合会
5/13(木) ~ 5/18(火)	木彩会 洋画作品展<油彩・水彩>	木彩会
5/20(木) ~ 5/25(火)	新樹会 水彩画展	新樹会
5/28(金) ~ 6/1(火)	丹水会展<水彩>	丹水会
6/3(木) 6/8(火)	神戸パステル画会 (KP展)	神戸パステル画会
6/10(木) 6/15(火)	第7回 そらいろの会 絵画展	そらいろの会
6/18(金) 6/22(火)	第10回 眞率会 (日本画) 展	眞率会
6/25(金) 6/29(火)	風の会 作品展	風の会

※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。



### こうべまちづくり会館

開館時間：午前9時30分～午後6時(水曜日休館)

場 所：元町商店街4丁目西端の南側角

地下鉄海岸線「みなと元町駅」西1出口から北へ1分

神戸高速「花隈駅」東口から南へ3分

「西元町」東口から東へ5分

JR・阪神「元町駅」西口から西へ8分

〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2-14

電話：078-361-4523 FAX：078-361-4546

ホームページ <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

### コミュニティ相談センター(まちづくり会館4F)

自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談

受付：午前9時30分～午後5時30分(水曜日休館)

ただし、印刷は5時まで

電話・FAX：078-361-4565

4月から、まちづくり会館の開館時間が午前9時30分となりました！